

2022年8月9日

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会

PR業務の最高峰を選出する 「PRアワードグランプリ 2022」 9月1日からエントリー受付開始

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会（理事長：牧口征弘）は、9月1日（木）から「PRアワードグランプリ 2022」のエントリー受付を開始いたします。

PRアワードグランプリは、一般企業・団体の広報部門やPR会社が実施するパブリックリレーションズの事例を広く募集し、審査を通して日本を代表する優秀な活動を表彰・公開するもので、2001年にスタートしてから本年度で23回目※を迎えます。日本のコミュニケーション技術の更なる質的向上と、育成に資するとともに、パブリックリレーションズに対する一層の理解促進を目指します。

審査員には、パブリックリレーションズのプロフェッショナルの方々に加え、アカデミズムやジャーナリストの方々にも参加していただきます。多彩なエントリーに対し多角的な視点で評価を行うことにより、PR業務の最高峰を選出するアワードの実現を目指します。また、例年通り9月1日から9月30日までいただいたエントリーについては、エントリー料が通常の半額となる「早期エントリー制」を導入し、応募層の拡大を図ります。

スケジュールは、2022年9月1日（木）の受付開始から、早期エントリーの締め切りを2022年9月30日（金）、最終エントリーの締め切りを10月25日（火）17:00必着といたします。

詳しくは下記 URL をご確認ください。

<PRsj サイト> <https://prs.j.or.jp/pr-award/>

※ 2001年度は2回開催

「PRアワードグランプリ 2022」実施概要

◇ 趣旨

パブリックリレーションズの活動事例を広く募集し、審査を通じて優秀な活動事例を表彰・公開し、日本のコミュニケーション技術の質的向上と育成に資するとともに、パブリックリレーションズに対する一層の理解促進を図る。

主催：公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会

後援：経済産業省・日本広報学会・公益社団法人 日本広報協会

◇ エントリー条件

企業・団体が実施または参加したコミュニケーション活動であり、活動開始時期に関わらず直近1年間に成果があがったもの。

※現在継続している活動を含む

※過去にエントリーした案件も、上記条件に当てはまれば再度エントリー可

◇ 応募について

日本におけるパブリックリレーションズ活動の幅広い事例を募集します。

統合的なコミュニケーション活動から、広報・PRに関する調査研究・著作まで日本のパブリックリレーションズを代表し、業界の発展やレピュテーションの向上に資する事例をお寄せください。

応募に際し、この活動がなぜパブリックリレーションズの事例としてふさわしいかを明記の上、

- 1) Strategy & Research 課題解決のための戦略性
- 2) Idea 課題解決のための独創性
- 3) Execution 活動内容の専門性または完成度
- 4) Documented Results 目標に対する直接的・間接的な成果・評価（社会またはPR業界への影響力の高さ）

の4つの評価ポイントを明らかにしていただきます。

特に「4）目標に対する直接的・間接的な成果・評価」を明確にするために、当該事業会社にとっての活動の目的とその達成における具体的な成果を記述していただきます。詳しくは下記の例をご参照ください。なお、いずれの成果イメージにおいてもパブリシティの広告換算を入れることは禁止といたします。

<応募いただく事例イメージと成果イメージ>

■ コーポレート・レピュテーションの向上

顧客・社員・社会等のステークホルダーからの支持と理解を得て、企業・公共機関・団体の活動を円滑に推進し、企業等の価値向上や組織変革に資するコミュニケーション活動例)

- ・企業ブランド価値向上のために行う活動全般
- ・企業イメージの明確化・確立のために行う活動全般
- ・企業イメージ向上のため、好意情勢のために行うソーシャルグッドの活動
- ・インターナルのモチベーションアップを実現するための活動
- ・企業のリスクマネジメント・クライシスマネジメントに関わる活動

【成果イメージ】： 企業レピュテーション・企業イメージ向上の客観的な数値・エビデンスなど

■ マーケティング面における貢献

商品・サービスの開発、市場への参入・規模拡大を望ましい形で展開していくためのコミュニケーション活動

例)

- ・新商品、新カテゴリー創出のための情報環境創造と具体的な話題化・実績の獲得など
- ・商品に対する新たなブランドイメージ獲得による販売実績の向上など
- ・ロングセラー商品の話題維持拡大、新たなイメージ創出による市場拡大や販売実績の向上など

【成果イメージ】： 商品・サービスの売上や話題化獲得の客観的なエビデンスなど

■ ソーシャルグッドによる新たな意識・行動の実現

企業・公共機関・団体が、社会の重要な構成員として、社会的課題解決に向けた取り組みや社会貢献の推進を積極的に行うためのコミュニケーション活動

例)

- ・NPO 法人など非営利組織が提起する新たな認識拡大や行動喚起などを実現する活動
- ・企業の事業持続化のために必要な社会的な課題解決を実現するための意識啓発、行動喚起のための活動

【成果イメージ】： ソーシャルグッドのための活動・プログラムの認知度向上、参加者の増加等の客観的なエビデンスなど

■ 日本や世界のパブリックリレーションズの価値向上や新たな手法解決に貢献する活動

パブリックリレーションズにおける調査や研究開発、執筆活動など、日本におけるパブリックリレーションズの質的な向上や普及拡大に貢献したものの。

例)

- ・パブリックリレーションズにおける知見を公益に資する知識財として普及・拡大する活動（著作や講演活動など）
- ・パブリックリレーションズ領域に携わる人たちが共有できる新たな手法やプログラムの開発

【成果イメージ】： それぞれの目的とそれに対する客観的なエビデンスや成果を明記してください

◇ スケジュール

- 募集開始 : 2022年9月1日(木)
- 早期エントリー締切 : 2022年9月30日(金) 中に受付記録があるもの
- 最終エントリー締切 : 2022年10月25日(火) 17:00 必着
- 審査 : 一次審査: 2022年11月11日(金)
グランプリ審査: 2022年12月2日(金)
- 表彰式 : 2022年12月15日(木) 12:30~16:00 予定

◇ エントリー方法

- ① PRSJ ウェブサイト「PRアワードグランプリ 2022」からエントリーシートをダウンロードし、ご記入ください。
- ② エントリーフォーム(9月1日オープン)に必要な事項を入力しエントリーシートを添付後、登録を完了してください。
※自動返信の確認メールが届かない場合、受付が正常に完了していない可能性がありますので、事務局までお問い合わせください。

- ③ 全てのエントリー締め切り後に、エントリー料の請求書を送付いたしますので、2022年11月30日(水)までにお振込みをお願いします。

◇ エントリー料

早期エントリー：11,000円(税込) / 1エントリー (振込手数料別途)

最終エントリー：22,000円(税込) / 1エントリー (振込手数料別途)

◇ 審査方法

審査員長のもと、9名の審査員で審査団を構成。審査員全員が一堂に会して議論形式の審査会を開催。全エントリーに対し厳正な審査を行い、「グランプリ」「ゴールド」「シルバー」「ブロンズ」の各賞を決定いたします。なお、顕彰委員会及び審査団の協議により、上記の賞以外の表彰を行う場合もございます。

1. 一次審査 (11月11日(金)予定)

審査団が全エントリーを審査し、上位エントリー(10組程度)を決定いたします。

審査終了後2~3日以内に、審査結果をご担当者にメールにてご連絡いたします。

2. グランプリ審査 (12月2日(金)予定)

一次審査で決定した上位エントリー(10組程度)によるエントリー内容の説明(1組10分程度)と審査団からの質疑応答を実施。全てのセッション終了後、「グランプリ」、「ゴールド」、「シルバー」各賞を決定いたします。

審査終了後2~3日以内に、審査結果をご担当者にメールにてご連絡いたします。

3. 表彰式・プレゼンテーションについて

シルバー以上を受賞の皆様には、受賞エントリーについてプレゼンテーションを行っていただきます。

日時：2022年12月15日(木) 12:30~16:00(予定)

※新型コロナウイルスの感染状況により、開催形式、公開方法を検討

※詳細は、11月下旬に受賞者に個別に連絡

◇ 表彰

「グランプリ」 : 1点(トロフィーを授与)

「ゴールド」 : 2点(トロフィーを授与)

「シルバー」 : 5点(トロフィーを授与)

「ブロンズ」 : 7点(表彰状を授与)

※上記は目安であり、最終的な表彰点数は審査団の協議により決定いたします

◇ 審査団（敬称略、50音順）

■ 審査員長（敬称略）

本田 哲也 株式会社本田事務所 代表取締役

■ 審査団(9名)（敬称略／氏名 50音順）

阿久津 聡 一橋大学大学院 経営管理研究科 教授

伊東 由理 Zホールディングス株式会社 執行役員 広報・IR 統括部長

根本 陽平 株式会社電通 PR コンサルティング コミュニケーションデザイン部 部長
／大正大学 非常勤講師

河 昴珍 國學院大學 観光まちづくり学部 観光まちづくり学科 准教授

浜田 敬子 ジャーナリスト 元 AERA 編集長

牧 志穂 株式会社博報堂 PR 局 プラニング二部 部長、チーフ PR ディレクター

矢嶋 聡 株式会社メルカリ PR チーム ディレクター／グループ広報責任者

横田 和明 株式会社井之上パブリックリレーションズ 執行役員

吉宮 拓 株式会社ブラップジャパン 取締役 戦略企画本部長

◇ 協会活動へのご協力（必読）

「PRアワードグランプリ 2022」上位入賞者は下記をはじめとする協会活動にご協力いただきますので、ご了承ください。

- ① 12月15日開催予定の表彰式・プレゼンテーションにおける事例の発表（一般に向けたオンライン配信を含む）
- ② PRSJウェブサイト・アーカイブで受賞者の発表および活動内容の紹介（エントリーシート・動画などの公開を含む）。
- ③ 協会出版物（「PR Yearbook」「協会ニュース」など）にて受賞者の発表および活動内容の紹介。
- ④ PRSJ主催のセミナー等で、エントリーの活動内容の紹介をしていただく場合があります。
- ⑤ 今後のPRアワードグランプリなどに関する告知・啓発活動にご協力をお願いする場合があります。
- ⑥ PRSJが参加する展示会へのパネル出展にご協力いただく場合があります。

添付資料 1

「PRアワードグランプリ」前年度受賞一覧（会社名は当時）

※2019年以前の受賞エントリーについては下記 URL からご覧いただけます。

<https://prsj.or.jp/pr-award/list/>

2021 年度

賞	エントリー会社名	エントリー名
グランプリ	国立研究開発法人 物質・材料研究機構	「まてりある's eye」 ～若者が人生を変える 物質科学広報プロジェクト～
ゴールド	(株)博報堂	東南アジアの「移動不安」という社会問題を解決する PR 装置 「Anti-Virus Mobility」 ～空気清浄技術×配車アプリ Grab～
	(株)電通 PR コンサルティング	パラスポーツの普及を通して社会を変革する PaRa Transformation(PX)
	(株)電通 PR コンサルティング (株)電通 浜島デザイン(株)	コロナ禍の芸術家を救え！ オンライン上のアートの 可能性を広げる「東京藝大アートフェス」の挑戦
シルバー	(株)パブリックグッド	若者の意思をくじく“3つの不”の解消と、 投票啓発に挑む「学校総選挙プロジェクト」
	(株)マテリアル (株)グレイワールドワイド	パンテーン 「#PrideHair」
	(株)オズマピーアール	不妊当事者の声で新しいあたり前を創る 「不妊治療の保険適用」実現に向けて
	猿人 ENJIN TOKYO	京都大学オンライン公開講義「立ち止まって、考える。」 ～ウィズコロナの社会を見据え、 学びの機会をオンラインで共有するプログラム～
	(株)プラップジャパン	健康経営の隠れた課題 「“みえない多様性”に優しい職場づくりプロジェクト」
ブロンズ	(株)メルカリ	“不安な時代にも「はじめる人」を応援！” メルカリ初のオーディション開催、体験価値提供へ
	(株)オズマピーアール	「あまらぶ」シティプロモーション～since2013～
	(株)電通	花業界からの新提案!“祝いそびれ”に花贈りを 「Okuléte gommen(オクレテゴメン)」プロジェクト
	(株)オズマピーアール	地方創生に「住民を奪い合う」移住施策から、 住んでなくても「知恵を分けあう」新しいかたちの市民 (=リモート市民)づくりへ 日本初!自治体が運営する移住の共創型オープンプラットフォーム「リモート市役所」
	(株)メルカリ	メルカリの原理原則を明示し、 信頼を築く「マーケットプレイスの基本原則」の策定
奨励賞	プラップノード(株)	PR を DX して日本の広報を変える - PR オートメーション

添付資料 2

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会について

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会（略称：PRS J）は、日本PR協会（1964年結成）と日本PR業協会（1974年設立）が1980年に合併統合され、時代に即したPRの在り方の探求とPRの啓発・普及を図るために設立されました。

現在は、一般の企業・団体の広報部門、PR業およびPR業関連会社、それに有識者などの個人会員を含む約700名で組織されているパブリックリレーションズ（PR）のプロフェッショナル団体です。2012年4月には公益社団法人の認定を受けました。

主な事業としては、「各種研修」「セミナー」などの教育事業、会員相互の交流事業、「PR Yearbook」「協会ニュース」「PR手帳」などの出版事業、優れたPR事例を顕彰する「PRアワードグランプリ」、傑出したPRパーソンを表彰する「日本PR大賞PRパーソン・オブ・ザ・イヤー」、広く社会や地域の発展に寄与した人物・団体を表彰する「日本PR大賞PRシチズン・オブ・ザ・イヤー」の運営などを行っており、これらの活動を通じてパブリックリレーションズの普及と啓発、広報・PRスキルの向上、倫理の徹底を推進しています。

2007年には、PRプロフェッショナルとしての知識やスキル、職能意識を認定する「PRプランナー資格認定制度」をスタートさせ、協会内外の広報・PRパーソンや、広報・PRに興味を持つ学生など、幅広い人々に「PRプランナー」などの資格を付与しています。

2009年10月、時代の要請に応える広報・PR人材育成センターを目指し、実務能力の向上を目的とした「広報PRアカデミー」（現在は「広報・PR実務講座」）を新たに開講いたしました。また2018年10月、PRプランナー試験に対応した公式テキストを全面改訂し、『広報・PR概説（1次試験対応テキスト）』と、『広報・PR実践（2次・3次試験対応テキスト）』を出版、2019年6月には、『広報・PR資格試験参考問題集』を出版しています。

2019年6月、パブリックリレーションズ活動の指針を定めた「PR活動ガイドライン」を策定いたしました。PRの仕事に携わるすべての関係者に向けて、PR活動のあるべき姿を提示するとともに、高い倫理観の下でPR活動の社会的責任を強く自覚することを求めています。

当協会はこれらの活動を通じて、広報・PRの普及と発展に努めています。

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木 6-2-31 六本木ヒルズノースタワー5F

TEL : 03-5413-6760 FAX : 03-5413-2147